

中学2年生 土曜特別授業が行われました

令和2年10月31日(土)に、武井 秀行先生（かえつ有明中学校・高等学校（東京都）国語科主任）と中村 文隆先生（国立天文台科学研究部准教授）をお招きし、土曜特別授業を行いました。

武井先生は、「ことばの意味ってなに？」というテーマのもと、「やさしさに包まれたなら」（荒井由実）、「手紙 拝啓十五の君へ」（アンジェラ・アキ）など4つの詩（歌詞）を手がかりに、共通性、独自性、共感性、普遍性という様々な性質を持つ「ことば」について、深く切り込んでいられました。

生徒からは、「もっと言葉と関わる時間を増やそうと思いました」、「僕がもやもやと感じていたことに、共通性、独自性、共感性という名前がついたことによって、自分の考えていることや感じていることを理解しやすくなりました」といった感想が聞かれました。

中村先生は、「星の誕生 ブラックホールはどうやって作る？」というテーマのもと、望遠鏡による天体観測やコンピュータシミュレーションによって明らかになった「星の誕生」についてお話しされました。

生徒からは、「星の中心部が鉄になるのはなぜか」、「白色矮星と中性子星の誕生の相違点は何か」などの質問がありました。また、「発見されたブラックホールの質量が太陽の400万倍あることなど、宇宙のスケールの大きさに驚かされました」、「天文学には未解明の部分が多く、将来は宇宙関連の研究者になりたいという思いが強くなりました」などの感想が聞かれました。深い学びを通して、宇宙や科学技術への興味・関心を高める授業になりました。



武井 秀行 先生



中村 文隆 先生